

よつば通信



平成 30 年 11 月 20 日
魚津市立よつば小学校 12 月号
URL www.yotsuba-e.tym.ed.jp

12月の行事予定

2	日	チャイルドビーチ
3	月	職員会議 航空写真(ドローン)撮影
4	火	魚津市子ども会議
5	水	委員会
6	木	個別懇談
7	金	個別懇談
10	月	魚津ハウス訪問(4-1)
11	火	I C T
12	水	租税教室(6) 魚津病院訪問(4-3, 4)
13	木	I C T 魚津ハウス訪問(4-2)
14	金	地区児童会
15	土	ティーボール大会
20	木	給食最終日
21	金	終業式 職員会議
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	冬季休業
28	金	執務納め
毎週木曜日 読み聞かせ		

お願い

テレビのニュースでも「インフルエンザ」の話題が聞かれるようになりました。流行期に入りますと「インフルエンザ」の有無に関わらず、欠席連絡時に症状を詳しくお聞きすることとなります。

朝のお忙しい時間ですがご協力をお願いいたします。

秋が一段と深まり、太陽の日差しの温もりが心地よく感じられたり、気温が下がって肌寒く、少しずつ冬が近づいてきているなあと感じられたりする季節になってきました。

学校では、周辺道路と駐車場の工事が完了し、29日(木)に竣工式が行われます。新校舎の建設にご理解、ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。これからも、よつば小学校の教育活動への温かいご支援をお願い申し上げます。

ポジティブシンキングープラス思考でー

校長 宝田 哲

「子どもは、ほめて育てる」。わかっていながら、それは教師にも親にもなかなか難しく、短所や欠点を直すことは非常に大切なことですが、その指導はめったに上手くいきません。根気強く・・・なんて思っている、何回同じこと言わせるが～なんてことになり、自己嫌悪に陥ってしまいます。子どもの方も「私のことをわかってくれない」「ぼくはダメな子や」と、大人への反発や自尊感情の低下につながりかねません。



簡単にできることではないのですが、短所ばかりに目を向けず、よいところを伸ばそうという姿勢が必要です。

そこで、「ポジティブシンキング」。短所も見方を変えて長所にとらえてみましょう。「消極的」→「控え目、謙虚」、「飽きっぽい」→「好奇心旺盛、敏感」、「頑固」→「強い意志がある」というように、その子の特徴を長所として言い換えてみます。(もちろん程度にもよりますが・・・)これは、リフレーミング(枠組み転換)と言われ、見方を変えることで言い方や接し方、心の持ちようも変える方法のひとつです。例えば、テストで満点をとれなかった時に、「○問も間違えた。」と思うのではなく、「◇問も正解した。」と思うようにして次につなげる考え方です。よいところが伸びれば、短所は目立たなくなることが多いと言われています。子どもたちのやる気を削がずに、よいところを上手に伸ばしてあげてください。

ちなみに、自分が「口うるさい」と思っているお母さんへ。それは、「よく気が付いて、子ども思い」ということになりますね。

「ねこのピート だいすきなしろいくつ」という絵本があります。アメリカ生まれのスーパーポジティブな猫のお話で、何があっても歌を歌って前向きに生きる姿が描かれています。「○○のくつ～♪かなり最高～♪」という読み語りの歌も楽しくて、子どもも大人も間違いなくポジティブになれますよ。

作/エリック・リトウィン 絵/ジェームス・ディーン訳/大友剛 文字画/長谷川義史